

KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

日本語オノマトペの有契性に関する印象調査とその分析：

韓国語母語話者である日本語学習者と日本語母語話者を対象に

メタデータ	言語: ja 出版者: 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 公開日: 2019-03-29 キーワード (Ja): 有契性, オノマトペ, 日本語, 韓国語, 反復形 キーワード (En): 作成者: 大澤, 理英 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学
URL	https://doi.org/10.18956/00007865

日本語オノマトペの有契性に関する印象調査とその分析

— 韓国語母語話者である日本語学習者と日本語母語話者を対象に —

大 澤 理 英

要 旨

本論は、大澤（2017）に続いて、日本語母語話者を対象に、先行研究と同じ質問紙に、反復形の意味を問う質問項目を加えて調査し、先行研究の結果を合わせて分析したものである。

その結果、まず、日本語母語話者は、約 8 割から10割が、オノマトペの反復形とその意味が合っていると回答した。そして、反復形の意味として一致するものについて、基本的な例文では「反復（繰り返し）」が選ばれ、意味拡張した例文では「強調」と「継続」に大きく分かれ、その他では「分散」が選ばれるなど、例文によって明らかな違いが見られた。

次に、日本語母語話者と韓国語母語話者である学習者の回答結果を比較すると、韓国語母語話者である学習者のほうが、日本語母語話者よりも分析的に形式と意味の関係をとらえており、日本語母語話者のほうが、より総合的に形式と意味の関係をとらえていることがわかった。その要因についても考察する。

キーワード：有契性、オノマトペ、日本語、韓国語、反復形

1. はじめに

本論は、日本語オノマトペの形式と意味の有契性についての研究である。日本語学習者である20代の韓国語母語話者55名（大学院生42名、高校生 8 名、教員 5 名）を対象に行った調査（大澤2017）に続き、20代前後の日本語母語話者119名を対象に、同じ質問紙で、反復形の意味を問う質問項目を加えて調査し、比較検討したものである。

日本語オノマトペの数は、浅野（1978）に基づいて筆者が調べたところによると少なくとも1639語に及ぶ。擬態語へ意味拡張していない擬音語が225語、擬情語を含まない狭義擬態語が1265語、擬情語が149語である（伊藤2006）。

青山（1991b）によると、韓国語の擬声語は394語群、擬態語は802語群、派生擬態語は約210語群とあり、¹⁾ 約1406語のオノマトペが認められているが、それらの語に母音交替、子音の濃音化、激音（有気音）化が起こるため、実際の形式の数は更に多い。

まず、韓国語には日本語よりも多くの母音がある。韓国語で基本とされる単母音は、| [i]、

ㅏ[e], ㅑ[ɛ]、ㅓ[a]、ㅕ[ɔ]、ㅗ[o]、ㅛ[u]、ㅡ[w]の8つである。それ以外に、二重母音ㅟ[wɪ]、半母音ㅟ[w]+短母音の組み合わせによるものが11、長母音も見られる。

そして、韓国語の母音には陽母音と陰母音があり、韓国語オノマトペの特徴のひとつとして、母音交替によって次に挙げるような異なる意味の対立を表すことが挙げられる。これらの対立は「母音相対法則」と呼ばれている。

母音相対法則

陽母音：ㅏ[a]、ㅑ[ɛ]、ㅓ[o]、ㅕ[we]、ㅗ[jo]、ㅛ[wa]、ㅟ[wɛ]、ㅓ[ja]

陰母音：ㅓ[ɔ]、ㅑ[e]、ㅕ[jɔ]、ㅛ[u]、ㅟ[wi]、ㅟ[ju]、ㅟ[wɔ]、ㅟ[we]、ㅡ[w]、ㅣ[i]、ㅟ[wɪ]

(李殷娥2009: 42、李崇寧1978)²⁾

陽母音：輕・明・清・薄・剛・強・近・親・小・少・急・短・狭・濃・細

陰母音：重・暗・濁・厚・柔・弱・遠・疎・大・多・緩・長・広・淡・太

(李殷娥2009: 42、李崇寧1978)

次に、韓国語の子音には平音（無気音）、濃音（硬音）、激音（有気音）があり、パッチムと呼ばれる子音で語末が終わる閉音節がある。語感の差は、平音<濃音<激音の順で強まり、濃音は強く、激音は激しい語感を表すという。このような子音の対立は「子音加勢の法則」と呼ばれる（青山1991b: ix-xiv）。

また、日本語では「かんかん」と「がんがん」のように清濁（無声音と有声音）で意味の対立があるが、オノマトペに限らず韓国語にはそれらによる意味の対立はない¹⁾。

2. 調査方法

2.1 対象者

20代前後の日本語母語話者119名を対象に、先行研究と同じ質問紙に、反復形の意味を問う質問項目を加えて調査し、比較検討した。

2.2 調査内容

筆者は先行研究で、オノマトペの意味拡張について分析してきたため（伊藤2002、2004、2006、2009）、今回調査したオノマトペも、擬音語から擬態語が派生した可能性のある同形式のオノマトペを採用した。調査した用例数は下記の用例一覧の通り、29の同形式で1-1から29-3まであり、合計96の例文である。

1. かんかん

(例文1-1) 鍛冶屋で鉄の板をかんかん (カンカン) と叩いてのばす。

(例文1-2) 夏の日差しがかんかんと照りつけている。

(例文1-3) 彼はかんかんになって怒った。

2. ばりばり

(例文2-1) (厚めの) クラッカーをばりばり (バリバリ) 食べる。

(例文2-2) ばりばりしたシーツで寝た。

(例文2-3) ばりばりと仕事をこなした。

3. ごろごろ

(例文3-1) 雷がごろごろ (ゴロゴロ) 鳴った。

(例文3-2) お腹を壊してごろごろ (ゴロゴロ) する。

(例文3-3) 大きな石をごろごろ転がした。

(例文3-4) このカレーにはジャガイモがごろごろ入っているよ。

(例文3-5) 昨日は一日中 家でごろごろして過ごした。

(例文3-6) 目にごみが入ってごろごろする。

4. ばんばん

(例文4-1) 風船が次々割れてばんばん (バンバン) 鳴った。

(例文4-2) 洋服についた土ほりをばんばんと手ではたいた。

(例文4-3) 食べすぎておなかがばんばんだよ。

(例文4-4) 歩きすぎて(歩き疲れて)足がばんばんに腫れた(なった)。

5. びしびし

(例文5-1) 鞭(むち)でびしびし (ビシビシ) 叩く。

(例文5-2) びしびし鍛える(きたえる)。

6. からから

(例文6-1) 空き缶の中に石を入れてからから (カラカラ) と鳴らした。

(例文6-2) のどがからからだ。のどがからからにかわいた。

7. ざらざら

(例文7-1) ザルから豆がざらざら (ザラザラ) とこぼれた。

(例文7-2) その男の声は聞きづらくてざらざらしていた。

(例文7-3) そのおじいさんの手はかたくてざらざらしていた。

8. がんがん

(例文8-1) かなづちで壁に大きな釘をがんがん (ガンガン) 打ち付けた。

(例文8-2) 頭ががんがんしてきた。

(例文8-3) がんがん仕事を進める。

9. ばらばら

(例文9-1) 新しい教科書をばらばら (バラバラ) めくってみた。

(例文9-2) ご飯の上にごま塩をばらばら振りかけた。

(例文9-3) 冷蔵庫に入れてばらばらになったご飯をチャーハンにする。

10. ばらばら

(例文10-1) 突然、電（ひょう）が大量にばらばら（バラバラ）と降ってきて、
車が傷だらけになってしまった。

(例文10-2) 意見がばらばらでまとまらない。

11. かりかり

(例文11-1) ラッキョウをかりかり（カリカリ）食べる。

(例文11-2) ポテトをかりかりに揚げる。

(例文11-3) かりかりしていると体に悪いよ。

12. ペこペこ

(例文12-1) アルミ缶の底を押してペこペこ（ペコペコ）鳴らした。

(例文12-2) 朝から何も食べていないからお腹がペこペこだ。

(例文12-3) 上司にペこペこする。

13. がりがり

(例文13-1) 大きな氷をがりがり（ガリガリ）と削った。

(例文13-2) 大きな飴をがりがり（ガリガリ）噛み砕いて食べた。

(例文13-3) がりがりにやせてしまった。

14. びりびり

(例文14-1) 手紙の封筒を手でびりびり（ビリビリ）と破って開けた。

(例文14-2) 唐辛子で舌がびりびりする。

(例文14-3) 今朝は寒くて、外を歩いていたら顔がびりびりした。

(例文14-4) オーディション会場の待合室では皆びりびりしていた。

15. ぽんぽん

(例文15-1) お母さんは食後に赤ちゃんの背中をぽんぽん（ポンポン）と叩いてあげた。

(例文15-2) 花火師によって打上げ花火がぽんぽん（ポンポン）飛び出していった。

(例文15-3) 彼らとなると冗談がぽんぽん飛び交っていつも楽しい。

16. ずるずる

(例文16-1) 蕎麦をずるずる（ズルズル）とおいしそうに食べる。

(例文16-2) 彼はずるずると結論をひきのばした。

(例文16-3) 私は、ずるずると悪の道に入り込んだ弟を必ず救い出す。

17. さくさく

(例文17-1) 地面に積もった新雪をさくさく（サクサク）と踏んで歩く。

(例文17-2) 梨はさくさくしていておいしい。

(例文17-3) 今日さくさく仕事を片付けよう。

18. ころころ

(例文18-1) 土で作られた鈴はころころ（コロコロ）かわいい音がする。

(例文18-2) 小さいボールがころころ転がっていった。

(例文18-3) その子犬はころころしていてかわいい。

(例文18-4) 彼は言うことがころころ変わるのので人から信用されない。

19. びちびち

(例文19-1) 魚がびちびち (ビチビチ) 跳ねる音がする。

(例文19-2) その店ではびちびちした魚が食べられる。

20. どんどん

(例文20-1) 大きな太鼓をどんどん (ドンドン) 打ち鳴らす。

(例文20-2) たくさん作ったからどんどん食べて。

(例文20-3) その火はどんどん燃え広がった。

(例文20-4) そんなにどんどん先に行かないでよ。

21. かさかさ

(例文21-1) 乾いた落ち葉を踏むとかさかさ (カサカサ) 音がする。

(例文21-2) 乾燥肌なので肌がかさかさになる。

(例文21-3) そのパンは古くてかさかさでおいしくなかった。

22. ちゃらちゃら

(例文22-1) ポケットの中で小銭がちゃらちゃら (チャラチャラ) 鳴った。

(例文22-2) そのレストランはちゃらちゃらした内装で落ち着かなかった。

(例文22-3) 彼はちゃらちゃらした人が嫌いだった。

23. かちかち

(例文23-1) ライターをかちかち (カチカチ) 鳴らして火をつけた。

(例文23-2) バナナを冷蔵庫でかちかちに凍らせた。

(例文23-3) 面接の時は緊張してかちかちになってしまった。

(例文23-4) 彼の頭はかちかちで話し合いができない。

24. がちがち

(例文24-1) 寒くて歯ががちがち (ガチガチ) 鳴った。

(例文24-2) がちがちに凍った湖の上にスケートリンクを作る。

(例文24-3) 面接の時に異常に緊張してがちがちになってしまった。

(例文24-4) 彼はがちがちの保守派だ。

25. さらさら

(例文25-1) ススキの穂がさらさら (サラサラ) 鳴る。

(例文25-2) 小川がさらさら流れる。

(例文25-3) お茶漬けをさらさら食べる。

(例文25-4) 彼女は筆でさらさら字を書いた。

(例文25-5) 長い髪がさらさらと風にそよいだ。

26. とんとん

(例文26-1) お母さんの肩をとんとん (トントン) たたく。

(例文26-2) 事がとんとんと進んだ。

27. がたがた

(例文27-1) 強風で戸ががたがた (ガタガタ) うるさいね。

(例文27-2) 恐ろしくてがたがた震えた。

(例文27-3) がたがた文句を言うな。

(例文27-4) 今更がたがたしても仕方がないから落ち着こう。

(例文27-5) 古くてがたがたの車に乗って旅に出た。

(例文27-6) 組織ががたがたになる。

(例文27-7) その人の信頼はがたがたに崩れ落ちた。

28. ばんばん

(例文28-1) 彼は机の上をばんばん (バンバン) たたいた。

(例文28-2) お金をばんばん使う。

29. がちゃがちゃ

(例文29-1) 隣の部屋でがちゃがちゃ (ガチャガチャ) と鍵を開ける音がした。

(例文29-2) 店の人はたくさんの食器をがちゃがちゃ (ガチャガチャ) と洗っていた。

(例文29-3) プラモ (プラスチックモデル) が棚から落ちてがちゃがちゃになった。

本調査の質問紙の内容は、日本語オノマトペの用例それぞれについて、下記の質問A、B、Cの質問に回答してもらうというものである。

【共通質問A】

- ① 大部分の音と意味が合っているように感じる。
- ② 部分的に、音と意味が合っているように感じる。
- ③ 全ての音と意味が合わないように感じる。

【共通質問B】

ABABという反復形に感じられる意味を、次の①～⑩の中からひとつ選んでください。

- ① 反復 (繰り返し) ② 継続 ③ 強調 ④ 個別 ⑤ 分散 ⑥ 多様
- ⑦ 複数 ⑧ その他の意味 ⑨ 反復形と意味は特に関連していないと思う

【用語別質問C】

オノマトペについて、その用例中の意味が合っていると思う形式を、次の①～④の中からひとつ選んでください。(以下、同様)

- ① か ② ん ③ かん ④ なし

(例文1-1) 鍛冶屋で鉄の板をかんかん (カンカン) と叩いてのぼす。

(質問A) 1 (質問B) 2 (質問C) 3

3. 調査結果と考察

3.1 分析結果(1)(2) 反復形の意味と有契性

先ず、反復形について調査した質問Bの回答結果は次の通りである（表1-1～1-5）。本論の対照表中では、韓国語母語話者である学習者を「韓」、日本語母語話者を「日」と略して記している。これらを比べると、反復形に対する韓国語母語話者の回答と、今回の日本語母語話者の回答には、かなりの差が見られるが、前回の調査では、細かい意味の分類までは質問しておらず、意味の選択肢は、今回の日本語母語話者を対象とした調査で新たに加えたものであるため、質問の仕方が異なっているという理由で、ここでは反復形についての日韓対照は行わないものとする。

そこで、日本語母語話者の回答のみについて分析すると、次の二つの結果が得られた。

- (1) 日本語母語話者は、約8割から10割が反復形と意味が合っていると回答している。
- (2) 反復形の意味として一致するものについては、例文によって差が見られるが、中でも、選択肢①の「反復（繰り返し）」、③の「強調」、②の「継続」の順に多くの回答が集まり、その3つ以外の例文では⑤の「分散」が選ばれた。

先ず、①の「反復」の回答が多かった例文は、次の通りである。29項目のオノマトペ形式の中で、各項目の基本的な意味を表す擬音語（○-1）のオノマトペの例文がほとんど該当していた。

表1-1 質問B（項目1～5）

ABAB	No.	韓	韓%	日%	①反復（繰り返し） ②継続 ③強調 ④個別 ⑤分散 ⑥多様 ⑦複数 ⑧その他 ⑨関連していない									
					100%-0									
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
かんかん	1-1	18	32.76	99.16	68.04	27.72	10.08	0	1.68	0	0	0	0	0.84
	1-2	11	20.02	94.12	9.24	10.92	68.88	2.52	3.36	0	0.84	0.84	5.88	
	1-3	16	29.12	92.44	9.24	4.2	71.4	4.2	0.84	1.68	0.84	3.36	7.56	
ばりばり	2-1	18	32.76	98.32	62.16	17.64	10.08	1.68	10.92	0	2.52	0.84	1.68	
	2-2	10	18.2	82.36	14.28	4.2	34.44	5.88	5.88	8.4	3.36	6.72	17.64	
	2-3	21	38.22	90.76	17.64	25.2	35.28	5.88	0.84	5.04	1.68	0.84	9.24	
ごろごろ	3-1	12	21.84	100	56.28	20.16	22.68	0.84	5.04	2.52	0.84	0.84	0	
	3-2	9	16.38	86.56	26.88	23.52	11.76	5.04	6.72	5.88	4.2	5.04	13.44	
	3-3	33	60.06	98.32	53.76	27.72	12.6	0.84	0.84	2.52	1.68	2.52	1.68	
	3-4	16	29.12	98.32	12.6	5.88	31.08	5.88	5.88	6.72	32.76	0.84	1.68	
	3-5	27	49.14	94.12	31.92	36.96	5.04	4.2	4.2	5.88	2.52	6.72	5.88	
	3-6	7	12.74	87.4	21.84	10.92	17.64	1.68	10.92	5.04	5.04	14.28	12.6	
ばんばん	4-1	14	25.48	99.16	41.16	10.08	26.04	2.52	5.88	4.2	15.12	0.84	0.84	
	4-2	15	27.3	100	59.64	10.92	17.64	1.68	10.08	2.52	1.68	0.84	0	
	4-3	18	32.76	96.64	10.08	10.08	68.04	2.52	2.52	0	0	2.52	3.36	
びしびし	4-4	13	23.66	98.3	20.4	8.5	63.75	1.7	0.85	0	0.85	1.7	1.7	
	5-1	19	34.58	97.45	60.35	8.5	25.5	1.7	1.7	1.7	1.7	0	2.55	
	5-2	6	10.92	93.2	15.3	22.1	37.4	5.1	3.4	2.55	2.55	4.25	6.8	

①の《反復》の回答が多かった例文：【表1-1】1-1「鍛冶屋で鉄の板をかんかん（カンカン）と叩いてのぼす。」(68.04%)、2-1「(厚めの) クラッカーをばりばり（バリバリ）食べる。」(62.16%)、3-1「雷がごろごろ（ゴロゴロ）鳴った。」(56.28%)、3-3「大きな石をごろごろ転がした。」(53.76%)、4-1「風船が次々割れてばんばん（パンパン）鳴った。」(41.16%)、4-2「洋服についた土ほこりをばんばんと手ではたいた。」(59.64%)、5-1「鞭（むち）でびしびし（ビシビシ）叩く。」(60.35%)

表1-2 質問B（項目6～12）

ABAB	No.	韓 反復	韓%	日%	①反復（繰返し） ②継続 ③強調 ④個別 ⑤分散 ⑥多様 ⑦複数 ⑧その他 ⑨関連していない									
					① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨									
					100%-①									
からから	6-1	22	40.04	99.15	51	13.6	13.6	2.55	5.95	0.85	11.05	1.7	0.85	
	6-2	12	21.84	90.65	11.05	15.3	42.5	5.1	2.55	1.7	1.7	10.2	9.35	
ざらざら	7-1	9	16.38	90.65	25.5	21.25	7.65	1.7	22.95	0	11.9	0.85	9.35	
	7-2	7	12.74	80.45	10.2	8.5	26.35	5.1	4.25	11.9	0	9.35	19.55	
	7-3	23	41.86	92.35	21.25	5.95	39.95	11.05	2.55	2.55	2.55	10.2	7.65	
がんがん	8-1	22	40.04	97.39	57.42	14.79	26.97	0	0	1.74	1.74	1.74	2.61	
	8-2	18	32.76	94.78	20.01	33.06	40.89	0.87	6.09	4.35	0.87	0.87	5.22	
	8-3	18	32.76	89.56	14.79	19.14	46.11	5.22	0.87	2.61	2.61	1.74	10.44	
ばらばら	9-1	14	25.48	95.65	48.72	24.36	0.87	4.35	11.31	0.87	10.44	1.74	4.35	
	9-2	13	23.66	97.39	30.45	16.53	7.83	4.35	33.93	0.87	12.18	0.87	2.61	
	9-3	14	25.48	94.78	16.53	5.22	14.79	11.31	40.89	3.48	7.83	2.61	5.22	
ばらばら	10-1	18	32.76	91.3	26.1	21.75	18.27	2.61	20.01	2.61	13.05	1.74	8.7	
	10-2	17	30.94	97.39	11.31	1.74	9.57	18.27	45.24	12.18	7.83	0	2.61	
かりかり	11-1	13	23.66	95.65	57.42	20.01	13.05	2.61	2.61	1.74	1.74	2.61	4.35	
	11-2	18	32.76	94.78	24.36	3.48	59.16	4.35	2.61	1.74	0.87	3.48	5.22	
	11-3	13	23.66	85.21	16.53	23.49	26.1	5.22	1.74	6.09	1.74	11.31	14.79	
ぺこぺこ	12-1	11	20.02	95.65	70.47	7.83	9.57	2.61	2.61	2.61	3.48	1.74	4.35	
	12-2	12	21.84	95.65	19.14	21.75	45.24	4.35	1.74	1.74	0.87	6.09	4.35	
	12-3	20	36.4	93.91	66.12	10.44	11.31	4.35	0.87	3.48	0.87	2.61	6.09	

【表1-2】6-1「空き缶の中に石を入れてからから（カラカラ）と鳴らした。」(51%)、8-1「かなづちで壁に大きな釘をがんがん（ガンガン）打ち付けた。」(57.42%)、9-1「新しい教科書をばらばら（バラバラ）めくってみた。」(48.72%)、11-1「ラッキョウをかりかり（カリカリ）食べる。」(57.42%)、12-1「アルミ缶の底を押してぺこぺこ（ペコペコ）鳴らした。」(70.47%)、12-3「上司にぺこぺこする。」(66.12%)

表1-3 質問B (項目13~18)

ABAB	No.	韓	韓%	日%	①反復 (繰り返し) ②継続 ③強調 ④個別 ⑤分散 ⑥多様 ⑦複数 ⑧その他 ⑨関連していない									
					100%-①									
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
がりがり	13-1	11	20.02	99.13	50.46	13.92	32.19	0.87	9.57	0	0.87	0	0.87	
	13-2	17	30.94	94.78	36.54	13.92	33.93	0.87	12.18	3.48	1.74	1.74	5.22	
	13-3	10	18.2	90.43	9.57	9.57	49.59	7.83	2.61	3.48	0	10.44	9.57	
びりびり	14-1	16	29.12	89.56	47.85	19.14	7.83	1.74	8.7	1.74	0	6.09	10.44	
	14-2	15	27.3	96.52	22.62	27.84	41.76	0.87	3.48	2.61	0.87	4.35	3.48	
	14-3	15	27.3	89.56	18.27	17.4	38.28	4.35	3.48	4.35	1.74	4.35	10.44	
ぼんぼん	14-4	17	30.94	94.78	8.7	17.4	41.76	6.09	5.22	3.48	6.09	11.31	5.22	
	15-1	20	36.4	100	77.43	13.92	5.22	3.48	0	3.48	3.48	0	0	
	15-2	18	32.76	97.39	38.28	27.84	9.57	2.61	8.7	3.48	12.18	0.87	2.61	
ずるずる	15-3	19	34.58	95.65	31.32	20.88	6.96	0.87	8.7	13.05	18.27	1.74	4.35	
	16-1	20	36.4	98.26	40.89	33.93	17.4	1.74	1.74	2.61	4.35	2.61	1.74	
	16-2	17	30.94	93.04	9.57	60.03	14.79	1.74	2.61	3.48	0.87	5.22	6.96	
さくさく	16-3	19	34.58	87.82	15.66	48.72	11.31	5.22	0	2.61	0.87	7.83	12.18	
	17-1	19	34.58	94.78	55.68	11.31	17.4	0.87	6.09	1.74	3.48	3.48	5.22	
	17-2	17	30.94	91.3	39.15	4.35	37.41	2.61	3.48	0.87	0.87	6.09	8.7	
ころころ	17-3	18	32.76	92.17	28.71	25.23	19.14	3.48	1.74	5.22	3.48	8.7	7.83	
	18-1	19	34.58	94.78	63.51	12.18	8.7	4.35	1.74	0	1.74	6.09	5.22	
	18-2	20	36.4	98.26	43.5	45.24	3.48	0.87	3.48	0.87	1.74	1.74	1.74	
	18-3	17	30.94	79.99	11.31	3.48	32.19	13.92	0.87	6.09	0.87	12.18	20.01	
	18-4	13	23.66	97.39	29.58	3.48	10.44	2.61	11.31	30.45	11.31	1.74	2.61	

【表1-3】 13-1「大きな水をがりがり (ガリガリ)と削った。」(50.46%)、14-1「手紙の封筒を手でびりびり (ピリピリ)と破って開けた。」(47.85%)、15-1「お母さんは食後に赤ちゃんの背中をぼんぼん (ポンポン)と叩いてあげた。」(77.43%)、(15-3「彼らといると冗談がぼんぼん飛び交っていつも楽しい。」 31.32%)、16-1「蕎麦をずるずる (ズルズル)とおいしそうに食べる。」(40.89%)、17-1「地面に積もった新雪をさくさく (サクサク)と踏んで歩く。」(55.68%)、18-1「土で作られた鈴はころころ (コロコロ)かわいい音がする。」(63.51%)、18-2「小さいボールがころころ転がっていった。」(43.5%)

表1-4 質問B (項目19~24)

ABAB	No.	韓	韓%	日%	①反復(繰り返し) ②継続 ③強調 ④個別 ⑤分散 ⑥多様 ⑦複数 ⑧その他 ⑨関連していない									
		反復		100%-①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
びちびち	19-1	15	27.3	98.26	58.29	14.79	20.88	2.61	0.87	0.87	2.61	1.74	1.74	
	19-2	15	27.3	93.04	20.88	9.57	45.24	2.61	1.74	5.22	1.74	6.96	6.96	
どんどん	20-1	12	21.84	99.13	51.33	11.31	33.06	1.74	1.74	3.48	0.87	0.87	0.87	
	20-2	27	49.14	92.17	22.62	17.4	35.67	0.87	0.87	3.48	9.57	2.61	7.83	
	20-3	31	56.42	93.91	13.05	26.1	37.41	0.87	15.66	0.87	1.74	2.61	6.09	
	20-4	25	45.5	90.43	13.05	35.67	23.49	5.22	4.35	2.61	0.87	6.96	9.57	
かさかさ	21-1	16	29.12	97.39	40.89	6.96	12.18	4.35	8.7	6.09	14.79	6.09	2.61	
	21-2	16	29.12	90.43	26.97	13.05	25.23	5.22	4.35	2.61	0	14.79	9.57	
	21-3	23	41.86	84.34	15.66	6.09	38.28	4.35	7.83	0.87	0.87	9.57	15.66	
ちゃらちゃら	22-1	21	38.22	96.52	41.76	13.92	7.83	4.35	6.09	3.48	19.14	2.61	3.48	
	22-2	22	40.04	87.82	11.31	3.48	36.54	10.44	6.09	11.31	0.87	9.57	12.18	
	22-3	14	25.48	86.08	15.66	5.22	26.1	15.66	0.87	11.31	0.87	13.05	13.92	
かちかち	23-1	16	29.12	99.13	67.86	10.44	8.7	3.48	2.61	0.87	6.96	0.87	0.87	
	23-2	11	20.02	97.39	16.53	9.57	62.64	4.35	0	2.61	0.87	2.61	2.61	
	23-3	15	27.3	93.91	17.4	18.27	37.41	11.31	0.87	2.61	0.87	8.7	6.09	
	23-4	10	18.2	83.47	16.53	9.57	30.45	10.44	2.61	6.09	0.87	9.57	16.53	
がちがち	24-1	13	23.66	98.26	53.07	18.27	25.23	1.74	1.74	0	1.74	0.87	1.74	
	24-2	16	29.12	95.65	14.79	7.83	60.9	4.35	1.74	2.61	0	6.09	4.35	
	24-3	16	29.12	90.43	14.79	13.92	47.85	4.35	0	4.35	0.87	6.09	9.57	
	24-4	7	12.74	85.21	14.79	5.22	43.5	9.57	1.74	5.22	0.87	5.22	14.79	

【表1-4】19-1「魚が**びちびち** (ピチピチ) 跳ねる音がする。」(58.29%)、20-1「大きな太鼓を**どんどん** (ドンドン) 打ち鳴らす。」(51.33%)、21-1「乾いた落ち葉を踏むと**かさかさ** (カサカサ) 音がする。」(40.89%)、22-1「ポケットの中で小銭が**ちゃらちゃら** (チャラチャラ) 鳴った。」(41.76%)、23-1「ライターを**かちかち** (カチカチ) 鳴らして火をつけた。」(67.86%)

表1-5 質問B (項目25~29)

ABAB	No.	韓	韓%	日%	①反復(繰り返し) ②継続 ③強調 ④個別 ⑤分散 ⑥多様 ⑦複数 ⑧その他 ⑨関連していない									
		反復		100%-①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
さらさら	25-1	20	36.4	95.65	45.24	22.62	7.83	1.74	4.35	4.35	11.31	2.61	4.35	
	25-2	16	29.12	92.17	25.23	46.98	7.83	1.74	6.96	0.87	0.87	1.74	7.83	
	25-3	19	34.58	92.17	39.15	24.36	9.57	3.48	6.09	2.61	2.61	5.22	7.83	
	25-4	21	38.22	92.17	26.97	38.28	10.44	6.09	2.61	4.35	0.87	3.48	7.83	
	25-5	21	38.22	93.91	23.49	18.27	22.62	8.7	12.18	0.87	2.61	9.57	6.09	
とんとん	26-1	21	38.22	99.13	72.21	20.01	8.7	1.74	0	0.87	2.61	0	0.87	
	26-2	21	38.22	93.91	27.84	35.67	17.4	1.74	3.48	0.87	2.61	5.22	6.09	
がたがた	27-1	22	40.04	99.13	45.24	20.88	29.58	3.48	1.74	0.87	0	0	0.87	
	27-2	20	36.4	99.13	32.19	26.1	31.32	2.61	2.61	4.35	0.87	3.48	0.87	
	27-3	16	29.12	83.47	24.36	0.87	26.1	7.83	1.74	13.92	6.96	3.48	16.53	
	27-4	14	25.48	81.73	25.23	13.05	13.92	6.96	5.22	7.83	3.48	6.96	18.27	
	27-5	23	41.86	92.17	14.79	10.44	40.89	6.96	3.48	4.35	2.61	8.7	7.83	
	27-6	20	36.4	89.56	10.44	5.22	14.79	7.83	37.41	5.22	4.35	5.22	10.44	
	27-7	8	14.56	93.04	19.14	7.83	27.84	5.22	24.36	2.61	1.74	6.96	6.96	
ばんばん	28-1	23	41.86	100	59.16	15.66	27.84	1.74	0	2.61	1.74	0	0	
	28-2	27	49.14	96.52	23.49	17.4	38.28	4.35	2.61	3.48	10.44	0.87	3.48	
がちゃがちゃ	29-1	16	29.12	99.13	60.03	13.05	24.36	2.61	3.48	0	0.87	1.74	0.87	
	29-2	19	34.58	99.13	34.8	23.49	26.1	2.61	1.74	0.87	12.18	2.61	0.87	
	29-3	21	38.22	85.21	12.18	7.83	12.18	6.09	38.28	2.61	5.22	0.87	14.79	

【表1-5】 25-1「ススキの穂がさらさら（サラサラ） 鳴る。」(45.24%)、(25-3「お茶漬けをさらさら 食べる。」 39.15%)、26-1「お母さんの肩をとんとん（トントン） たたく。」(72.21%)、27-1「強風で戸ががたがた（ガタガタ） うるさいね。」(45.24%)、28-1「彼は机の上をばんばん（バンバン） たたいた。」(59.16%)、29-1「隣の部屋でがちゃがちゃ（ガチャガチャ） と鍵を開ける音がした。」(60.03%)

次に、同形式で意味拡張していると分析できる例文（○-2～7）では、《反復》以外の③《強調》が多く、次いで②《継続》が多いという結果であった。

③《強調》を選んだ回答が特に多く約6割以上であった例は、【表1-1】 1-2「夏の日差しがかんかんと照りつけている。」(68.8%)、1-3「彼はかんかんになって怒った。」(71.4%) 4-3「食べすぎておなかばんばんだよ。」(68.04%)、4-4「歩きすぎて（歩き疲れて）足がばんばんに腫れた（なった）。」(63.75)、【表1-2】 11-2「ポテトをかりかりに揚げる。」(59.16%)、【表1-4】 23-2「バナナを冷蔵庫でかちかちに凍らせた。」(62.64%)、24-2「がちがちに凍った湖の上にスケートリンクを作る。」(60.9%)であった。これらの音韻を見ると、1拍目は/k/、/g/、/p/、/t/といった破裂音（チは破擦音）と母音/a/の組み合わせであり、2拍目は撥音またはチ（破擦音）であるが、このような音韻は、これらの例文だけに見られる特徴ではない。いずれも《反復》の意味ではなく、それぞれ《状態の程度の強さ》を表していると感じられた例であり、ここでの反復形は《強調》という意味に特化していることがわかる。

②《継続》を選んだ回答が6割を超えた例は【表1-3】の16-2「彼はずるずると結論をひきのばした。」(60.03%)であった。この例文では、「ひきのばした」という述語と呼応しており、まさに同じ動作の《継続》を表している。5割に近い回答を得たものでは、【表1-3】 16-3「私は、ずるずると悪の道に入り込んだ弟を必ず救い出す。」(48.72%)、18-2「小さいボールがころころ転がっていった。」(45.24%)、【表1-5】 25-4「彼女は筆でさらさら字を書いた。」(38.28%)が挙げられる。16-3は「入り込む」、18-2は「～ていった」、25-4は「筆で字を《途切れずに》書く」という文脈で、いずれも同じひとつの動作が終わらずに《継続》することがわかる。

最後に、⑤の《分散》が4割以上選ばれた例文は、9-3「冷蔵庫に入れてばらばらになったご飯をチャーハンにする。」(40.89%)、10-2「意見がばらばらでまとまらない。」(45.24%)であった。両例文とも、明らかに、「ご飯」というモノや「意見」という抽象的なモノが、《まとまっている状態でない》という暗示を含みながら《分散している状態》が前景化しているもので、①の動作の反復（繰り返し）でも、②の動作の継続でもない。

以上、反復の意味について、予想では、①反復（繰り返し）に次いで、②継続、③強調の順に多いと考えていたが、今回の例文による調査では、③強調が二番目に多い結果であった。そして、③強調と②継続も、①反復の意味が感じられない例で選ばれており、②継続のほうは、

明らかに「動作が継続することを表す述語」と共起しているときに選ばれることがわかった。そして、⑤分散が選ばれる場合は、《まとまっている状態でない》という暗示を含みながら《分散している状態》を表している例文であることがわかった。

以上、日本語のオノマトペの反復形の意味については、少なくとも先に述べた、調査前の一般的なイメージとは異なる結果が示され、具体的な実証を得ることができた。

3.2 分析結果(3)(4)

次に、先行研究（大澤2017）で行った韓国語母語話者である日本語学習者に調査した結果と、今回の日本語母語話者に調査した質問Aの結果を比較して、違いが見られた調査結果について考察する。

大澤（2017）で、韓国語母語話者に調査した質問Aの選択肢は次の①から⑤である。

- ① 韓国語で同じような意味に使う単語と全体的に似ているため、この日本語のオノマトペの大部分の音と意味が合致しているように感じる。
- ② 韓国語で同じような意味に使う単語と部分的に似ているため、この日本語のオノマトペのその部分が部分的に、音と意味が合致しているように感じる。
- ③ 韓国語で同じような意味に使う単語とは似ていないが、この日本語のオノマトペと全体的に音と意味が合致しているように感じる。
- ④ 韓国語で同じような意味に使う単語とは似ていないが、この日本語のオノマトペと部分的に音と意味が合致しているように感じる。
- ⑤ 韓国語で同じような意味に使う単語とも似ていないし、この日本語のオノマトペの全ての音と意味が合致しないように感じる。

このうち、①と③が全体的に、②と④が部分的に、形式と意味が合っていると感じる回答の選択肢で、⑤は、形式と意味が全く合っていないと回答する選択肢である。

そこで、韓国語母語話者である学習者の回答①と③の合計と、②と④の合計と、⑤を、冒頭で記載した日本語母語話者からの回答①、②、③とそれぞれ比較した。全体的な量を捉えていただけるよう、表中で、4割以上の数値に色をつけている。また、表2-1から2-3でも、日本語母語話者を「日」、韓国語母語話者を「韓」と略して記す。

表2-1 質問A (項目1~10)

質問A								質問A							
ABAB	No.	全体		部分		非合致		ABAB	No.	全体		部分		非合致	
		韓1+3 の%	日① %	韓2+4 の%	日② %	韓5 の%	日③ %			韓1+3 の%	日① %	韓2+4 の%	日② %	韓5 の%	日③ %
かんかん	1-1	56.42	80.64	41.86	15.96	1.82	0	びしびし	5-1	16.38	58.65	43.68	29.75	40.04	6.8
	1-2	21.84	28.56	38.22	29.4	40.04	42		5-2	20.02	36.55	32.76	22.95	47.32	35.7
	1-3	27.3	41.16	32.76	21.84	40.04	34.44		6-1	32.76	72.25	52.78	15.3	14.56	8.5
ばりばり	2-1	23.66	72.24	34.58	21.84	41.86	5.88	ざらざら	6-2	49.14	49.3	47.32	22.1	3.64	23.8
	2-2	25.48	15.12	47.32	41.16	27.3	42		7-1	34.58	37.4	58.24	28.05	7.28	28.9
	2-3	34.58	34.44	45.5	31.08	20.02	33.6		7-2	14.56	14.45	60.06	27.2	25.48	53.55
ごろごろ	3-1	27.3	79.8	40.04	14.28	32.76	4.2	がんがん	7-3	29.12	60.35	38.22	28.05	32.76	5.95
	3-2	52.78	33.6	38.22	35.28	9.1	31.92		8-1	40.04	66.99	50.96	25.23	9.1	11.31
	3-3	43.68	58.8	41.86	33.6	9.1	7.56		8-2	43.68	45.24	40.04	34.8	16.38	22.62
	3-4	25.48	39.48	36.4	32.76	38.22	27.72	ばらばら	8-3	27.3	26.1	40.04	26.97	32.76	51.33
	3-5	45.5	50.4	36.4	29.4	18.2	20.16		9-1	41.86	68.73	49.14	27.84	9.1	6.96
	3-6	16.38	41.16	41.86	32.76	41.86	26.04		9-2	25.48	46.98	43.68	50.46	30.94	6.09
ばんばん	4-1	80.08	73.92	16.38	19.32	3.64	5.88	ばらばら	9-3	18.2	48.72	49.14	30.45	32.76	23.49
	4-2	74.62	70.56	18.2	26.88	7.28	1.68		10-1	36.4	28.71	23.66	40.89	40.04	33.06
	4-3	69.16	42	29.12	31.92	1.82	21.84		10-2	38.22	54.81	40.04	18.27	21.84	29.58
	4-4	38.22	52.7	49.14	26.35	12.74	17								

表2-2 質問A (項目11~20)

質問A								質問A							
ABAB	No.	全体		部分		非合致		ABAB	No.	全体		部分		非合致	
		韓1+3 の%	日① %	韓2+4 の%	日② %	韓5 の%	日③ %			韓1+3 の%	日① %	韓2+4 の%	日② %	韓5 の%	日③ %
かりかり	11-1	23.66	68.73	50.96	23.49	25.48	10.44	ずるずる	16-1	25.48	72.21	63.7	20.01	10.92	9.57
	11-2	43.68	52.2	38.22	35.67	18.2	13.92		16-2	50.96	41.76	41.86	26.97	7.28	33.06
	11-3	38.22	29.58	43.68	24.36	18.2	48.72		16-3	52.78	36.54	40.04	30.45	7.28	34.8
へこへこ	12-1	14.56	58.29	43.68	31.32	41.86	13.05	さくさく	17-1	34.58	60.9	61.88	28.71	1.82	12.18
	12-2	43.68	43.5	34.58	26.1	21.84	33.06		17-2	45.5	61.77	50.96	27.84	1.82	11.31
	12-3	27.3	52.2	49.14	22.62	23.66	26.97		17-3	23.66	34.8	50.96	24.36	23.66	40.89
がりがり	13-1	29.12	76.56	52.78	18.27	18.2	6.96	ごろごろ	18-1	25.48	47.85	50.96	33.93	21.84	18.27
	13-2	34.58	64.38	38.22	23.49	27.3	13.92		18-2	49.14	63.51	36.4	22.62	10.92	13.05
	13-3	29.12	42.63	38.22	20.01	32.76	40.02		18-3	20.02	26.1	41.86	30.45	34.58	42.63
びりびり	14-1	21.84	36.54	49.14	37.41	29.12	28.71	びちびち	18-4	16.38	49.59	36.4	20.01	45.5	29.58
	14-2	41.86	55.68	41.86	33.93	16.38	14.79		19-1	30.94	72.21	54.6	24.36	12.74	3.48
	14-3	30.94	27.84	45.5	37.41	23.66	36.54		19-2	36.4	35.67	45.5	40.02	18.2	24.36
ぼんぼん	14-4	38.22	53.07	45.5	19.14	16.38	30.45	どんどん	20-1	63.7	84.39	30.94	12.18	3.64	2.61
	15-1	45.5	65.25	49.14	27.84	5.46	7.83		20-2	49.14	43.5	30.94	21.75	20.02	33.93
	15-2	56.42	46.98	40.04	33.06	3.64	23.49		20-3	41.86	45.24	45.5	24.36	12.74	29.58
	15-3	41.86	36.54	36.4	36.54	21.84	29.58		20-4	41.86	40.89	34.58	24.36	23.66	34.8

日本語母語話者の7割以上が、全体的に形式と意味が合致すると答えた項目は、次の通りである。【表2-1】1-1「鍛冶屋で鉄の板をかんかん（カンカン）と叩いてのばす。」（日80.64%／韓56.42%）、2-1「（厚めの）クラッカーをばりばり（バリバリ）食べる。」（日72.24%／韓23.66%）、3-1「雷がごろごろ（ゴロゴロ）鳴った。」（日79.8%／韓27.3%）、6-1「空き缶の中に石を入れてからから（カラカラ）と鳴らした。」（日72.25%／韓32.76%）、【表2-2】13-1「大きな氷をがりがり（ガリガリ）と削った。」（日76.56%、韓29.12%）、16-1「蕎麦をずるずる（ズルズル）とおいしそうに食べる。」（日72.21%、韓25.48%）、19-1「魚がびちびち（ビチビ

チ)跳ねる音がする。」(日72.21%、韓30.94%)、20-1「大きな太鼓をどんどん (ドンドン) 打ち鳴らす。」(日84.39%、韓63.7%)【表2-3】23-1「ライターをかちかち (カチカチ) 鳴らして火をつけた。」(日75.69%／韓45.5%)、26-1「お母さんの肩をとんとん (トントン) たたく。」(日74.82%／韓83.72%)、27-1「強風で戸ががたがた (ガタガタ) うるさいね。」(日80.91%／韓32.76%)、29-1「隣の部屋でがちゃがちゃ (ガチャガチャ) と鍵を開ける音がした。」(日75.69%／韓50.96%)

この中で、反例として、26-1「お母さんの肩をとんとん (トントン) たたく。」だけが、韓国語母語話者が日本語母語話者を上回っており、83.72%の人が、全体的に形式と意味が合致していると回答している。この例文は韓国語で「엄마의 어깨를 통통 [tʰoŋtʰoŋ] 두드리다。」であり、「とんとん[tonton]」は韓国語で「통통[tʰoŋtʰoŋ]」である。日本語の無声音は語頭で強く発音されるため、ここでの日本語の[t]は韓国語の有気音[tʰ]ともほぼ合致する。形式も用法もほとんど同じであり、母語である韓国語とすべての音素が同じであることから、高い数値を示したと考えられる。

そして、部分的に形式と意味が合致するという回答は、韓国語母語話者に多く、例えば、6割以上を示す例は、【表2-1】7-2「その男の声は聞きづらくてざらざら [zara zara] していた。」(韓60.06%／日27.2%)「그 남자의 목소리는 짹짹 [ʔtʰɔ̃kʰɪtʰɔ̃kʰ] 갈라져서 듣기 힘들다.」(韓国語訳)、【表2-2】17-1「地面に積もった新雪をさくさく (サクサク) [sakuɕakuɕ] と踏んで歩く。」(韓61.88%／日28.71%)「지면에 쌓인 눈을 사박사박 [sabaᵀᵀsabaᵀᵀ] 밟고 걸어간다.」(韓国語訳)であった。後者17-1は、日本語の「さくさく」は母音の無声化をとまうと[sakuɕakuɕ]と発音され、韓国語のパッチム[k]と合致して聞こえる。そして、韓国語で語中の有声音として発音される[b]は同じく有声音である母音に挟まれており、有声音が連なっているため強く聞こえない音である。このため、17-1の場合、日本語のオノマトペは部分的に韓国語のオノマトペと合致しているため、部分的に形式と意味が合致するという回答が多かったと考えられる。

一方、前者の7-2は、例文としても特徴的なもので、日本語は、「聴覚」でとらえる「声」について、もともと「触覚」でとらえる《滑らかでない、荒れている》状態を表す「ざらざら [zara zara]」で形容した例である。この例文については、「韓国語オノマトペと類似しない日本語オノマトペについても、形式と意味の間に有契性を認める回答が一定数あった(大澤2017)」例として、聴覚表現に触覚表現を用いた比喻表現が共感を得たものとして考察した。7-2の「ざらざら [zara zara]」を韓国語で訳すと「 짹짹 [ʔtʰɔ̃kʰɪtʰɔ̃kʰ] 」であるが、両者について形式的な類似点は、反復形であること以外、特に見出せない。子音も異なり、母音に関しても、「 짹짹 [ʔtʰɔ̃kʰɪtʰɔ̃kʰ] 」の[ɔ̃]は韓国語の陰母音であり、「ざらざら [zara zara]」の[a]は韓国語では陽母音である。

それでは、なぜ例文7-2についても6割以上の人が「部分的に合致する」と回答したの难道

うか。下の棒グラフ（左）と表（右）も参照されたい（大澤2017口頭発表より）。



7-2と同形式で擬音語である7-1「ザルから豆がざらざら（ザラザラ）[zarazara]とこぼれた。」は、韓国語で「소쿠리에서 콩이 좌르르 [t̚ɕwarurru] 쏟아졌다。」であり、部分的に合致するという回答が58.24%に及んでいる。確かに、7-1の「ざらざら[zarazara]」と「좌르르[t̚ɕwarurru]」では、子音/r/と母音/a/の出現が一致しており、韓国語では清濁、つまり無声音と有声音の区別をしないことを考え合わせると、両者の形式は部分的に類似していると言える。そして、この7-1の58.24%という数値は、7-2の60.06%とほぼ同数である。そこで、7-2の高い数値は、7-1に関連付けることができると考え、《大量の乾いた粒状のものがこすれ合っ出て出る音》を表す擬音語である「ザラザラ」「좌르르[t̚ɕwarurru]」が、《聞きざわりの滑らかでない》意味を比喩的に表すという意味拡張において、擬音語と連続して部分的な共感を得た可能性が高いと考察する。

表2-3 質問A（項目21～29）

質問 A								質問 A							
ABAB	No.	全体		部分		非合致		ABAB	No.	全体		部分		非合致	
		韓1+3 の%	日① %	韓2+4 の%	日② %	韓5 の%	日③ %			韓1+3 の%	日① %	韓2+4 の%	日② %	韓5 の%	日③ %
かさかさ	21-1	38.22	67.86	49.14	24.36	12.74	6.96	とんとん	26-1	83.72	74.82	14.56	19.14	1.82	5.22
	21-2	47.32	57.42	38.22	25.23	14.56	15.66		26-2	34.58	32.19	43.68	28.71	20.02	38.28
	21-3	38.22	25.23	45.5	33.93	16.38	40.02		27-1	32.76	80.91	54.6	13.05	12.74	4.35
ちゃらちゃら	22-1	63.7	59.16	32.76	28.71	3.64	11.31	がたがた	27-2	30.94	49.59	45.5	34.8	23.66	13.92
	22-2	23.66	32.19	49.14	26.97	27.3	38.28		27-3	32.76	26.1	43.68	22.62	23.66	50.46
	22-3	23.66	44.37	30.94	18.27	45.5	36.54		27-4	10.92	25.23	47.32	21.75	41.86	52.2
かちかち	23-1	45.5	75.69	47.32	17.4	7.28	4.35	ばんばん	27-5	40.04	47.85	49.14	33.06	10.92	17.4
	23-2	25.48	52.2	47.32	35.67	27.3	11.31		27-6	25.48	31.32	41.86	30.45	29.12	33.93
	23-3	20.02	38.28	52.78	31.32	27.3	28.71		27-7	12.74	37.41	38.22	36.54	49.14	24.36
がちがち	23-4	23.66	27.84	27.3	29.58	49.14	40.89	がちがち	28-1	38.22	77.43	56.42	16.53	5.46	4.35
	24-1	32.76	60.03	41.86	33.06	23.66	6.96		28-2	52.78	41.76	41.86	26.1	5.46	30.45
	24-2	25.48	51.33	43.68	31.32	30.94	15.66		29-1	50.96	75.69	43.68	19.14	5.46	5.22
さらさら	24-3	32.76	48.72	43.68	17.4	23.66	32.19	がちゃがちゃ	29-2	47.32	62.64	34.58	30.45	18.2	6.96
	24-4	10.92	31.32	34.58	21.75	54.6	45.24		29-3	18.2	24.36	47.32	31.32	34.58	41.76
	25-1	60.06	54.81	36.4	33.06	3.64	10.44								
	25-2	36.4	43.5	49.14	39.15	14.56	14.79								
	25-3	16.38	39.15	47.32	33.93	36.4	26.1								
	25-4	43.68	46.11	41.86	33.93	14.56	17.4								
	25-5	45.5	57.42	36.4	28.71	18.2	12.18								

以上の考察に加えて、表2-1から表2-3で、比較的数字の高いものに色付けをした分布を比べていただくと、(3)部分的な形式に対して有契性を感じた件数は、明らかに韓国語母語話者である日本語学習者のほうが多く、(4)全体的な形式に対して有契性を感じた件数は、明らかに日本語母語話者のほうが多かった。このことは、今回調査した日本語のオノマトペについて、韓国語母語話者である学習者のほうが、日本語母語話者よりも「分析的に」形式と意味との関係をとらえており、日本語母語話者のほうが、より「総体的に」形式と意味の関係をとらえていると言える。

このような違いが出た要因について、筆者は次のように考察する。

1. 音声の音節および音韻の音節の違い：韓国語には、閉音節構造があり、日本語は主に開音節構造である。また、日本語母語話者に特有の音韻の音節である拍の構造でも、子音は母音と一体化している。そのため、韓国語母語話者のほうが、母音と子音とを区別して意味と結びつけやすいと考えられる。
2. 表記の違い：韓国語は表記法がハングル文字であるため、子音と母音を分けて表記する。一方、日本語の表記には「ひらがな」「カタカナ」があり、その影響で、子音と母音の組み合わせを一体としてとらえやすいと考えられる。
3. 韓国語オノマトペには、日本語よりも細かく豊かなバリエーションがある。冒頭で紹介したように、韓国語のオノマトペの形式と意味の結びつきが、日本語よりもより細かいことが影響していると考えられる。
4. 言語学習において、目標言語の習熟度が高くなればなるほど、全体からとらえるトップダウン式の認知処理が行われる。韓国語母語話者である日本語学習者は、目標言語である日本語を外国語として理解しようとするため、日本語母語話者よりも、部分と部分を組み合わせて意味を把握する傾向が強いと考えられる。

以上の1から4のような要因が、総合的に作用した結果だと考える。

4. まとめと展望

以上、本論では、まず、日本語母語話者を対象とした調査結果では(1)反復形と意味との有契性について認める回答が8割以上を占め、(2)基本的な例文と、基本的な例文から意味拡張をしたと考えられる例文との間に明らかな違いが表れた。また、反復形が表す具体的な意味の違いについても、例文によって明らかになった。

次に、共通の質問による日本語母語話者と韓国語母語話者である学習者の回答結果を比較すると、(3)部分的な形式に対して有契性を感じた件数は、韓国語母語話者である日本語学習者のほうが多く、(4)全体的な形式に対して有契性を感じた件数は、日本語母語話者のほうが多

かった。このことから、韓国語母語話者である学習者のほうが、日本語母語話者よりも「分析的に」形式と意味との関係をとらえており、日本語母語話者のほうが、より「総体的に」形式と意味の関係をとらえていることがわかった。

なお、7-1の擬音語において部分的に形式が合致しているために高い共感を得たものが、比喩的に意味が拡張している7-2の擬態語の意味についても、母語のオノマトペとは似ていないにもかかわらず、擬音語の場合と同様に高い共感を得るという興味深い結果を得た。

今後は、日本語母語話者と日本語学習者である韓国語母語話者だけでなく、非日本語学習者である韓国語母語話者および他の言語母語話者を対象にして調査を進める予定である。

その際、文脈を示さないイメージ調査および各母語話者の言語のオノマトペも加えて調査を行い、言語と母語の違いによるオノマトペの形式と意味の有契性に関する研究を緻密に広げていきたい。

注

1) 日本語と韓国語のオノマトペについての説明は、大澤（2017）に同じ。

参考文献

- 青山英雄『朝鮮語象徴語辞典』大学書林、1991a。
- 『朝鮮語の音声象徴』『朝鮮語象徴語辞典』大学書林、1991b、vii-xx頁。
- 浅野鶴子『擬音語・擬態語辞典』角川書店、1978年。
- 飯田香織・玉岡賀津雄・初相娟「中国人日本語学習者の音象徴語の理解」『日中言語研究と日本語教育』第5号、2012年、46-54頁。
- 飯田香織・玉岡賀津雄「韓国人と中国人日本語学習者による音象徴語の意味理解」『小出記念日本語教育研究会論文集』第21号、2013年、7-18頁。
- 李 殷娥「日本語と韓国語のオノマトペに関して－反復形式を中心に－」『国際開発研究フォーラム』第10号、1998年、73-88頁。
- 「日本語と韓国語の反復形オノマトペ」田島毓堂、丹羽一彌編『日本語論究 7 語彙と文法と』和泉書院、2003年、205-253頁。
- 「韓国語オノマトペの音声象徴に関する一考察」『甲南女子大学研究紀要』第45号、文学・文化編、2009年、41-56頁。
- 李 崇寧「國語音聲象徴論에 대하여 : 특히 中世語 母音의 音色順位の 構造와 對立의 體系를 主로 하여」『言語』第3巻、第1号、韓国言語学会、1978年、1-18頁。

- (大澤) 伊藤理英「オノマトベに関する考察：擬音語と擬態語間の共感覚的比喩表現について」『日本エドワード・サピア協会研究年報』第16号、2002年、55-66頁。
- 「古代・中世の「～メク」におけるオノマトベの比喩による意味拡張について」お茶の水女子大学大学院博士論文、2004年。
- 「オノマトベにおける～スル形の考察」『日本認知言語学会論文集』第6号、日本認知言語学会、2006年、310-320頁。
- 『日本語オノマトベの比喩による意味拡張を中心とした認知言語学的考察』、J&C出版、2009年。
- 大澤（伊藤）理英「日本語オノマトベの有契性に関する印象調査とその分析—韓国語母語話者である日本語学習者を対象として—」『日本エドワード・サピア協会研究年報』第31号、2017年、29-44頁。
- 許 卿姫「日・韓両言語における音象徴語の比較対照的研究 (擬音語・擬態語<特集>)」『日本語教育』第68号、1989年、56-70頁。
- 玉岡賀津雄・宮岡弥生・金秀眞・林炫情「韓国語を母語とする日本語学習者の語彙知識がオノマトベの習得に与える影響」言語文化研究所編『言語教育評価研究』第2号、2011年、36-41頁。
- 田守育啓／スコウラップ、ローレンス『オノマトベ：形態と意味』、くろしお出版、1999年。
- Hamano, Shoko. 1998 *The Sound-Symbolic System of Japanese*, Kuroshio. Revision of Ph.D. dissertation, University of Florida, 1986
- 油谷幸利他編『朝鮮語辞典』、小学館、1993年。

(おおさわ・りえ 外国語学部准教授)